

平成20年6月30日  
水産庁

## 水産物の市況について(平成20年6月及び7月)

—東京都中央卸売市場における平成20年6月(平成20年5月21日～6月20日集計)の市況と、  
7月の市況見通し(前月との比較)—

### I 平成20年6月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月よりやや増加となり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は横ばいに推移しました。

### II 平成20年7月の主要品目の市況見通し

#### 「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月よりやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。(主漁場は犬吠埼沿岸)

#### 「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量はべにざけ、ぎんざけが入荷されることもあり前月よりやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は全体で見ると横ばいに推移すると見込まれます。

#### 「さば(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は北部太平洋海域、駿河湾から伊豆諸島周辺、九州西方海域)

#### 「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月よりやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。(日本海の主漁場は能登半島から北海道の小樽沖)

#### 「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月よりやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。(主漁場は山陰沿岸、九州西沖、犬吠埼～房総沿岸)

#### 「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は前月並みと見込まれるものの、卸売価格は在庫が減少していることや沖の漁が悪いことからやや強含みに推移すると見込まれます。

#### 「かつお(生鮮)」

入荷量は前月並みと見込まれるものの、卸売価格は需要のピークが過ぎたことからやや弱含みに推移すると見込まれます。(主漁場は犬吠埼沖合)

#### 凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～51	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)  
(単位:千トン、円/kg)

	6 月		前 月		前々月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
20年	56	813	53	825	58	834
前年	57	814	49	874	57	847

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。  
注2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格  
(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	6 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	750	91	130	106
さけ・ます(平均)	573	101	87	94
(ぎんざけ塩蔵品)	599	100	89	95
(あきさけ塩蔵品)	399	100	115	113
(ときさけ塩蔵品)	888	100	109	103
(べにざけ塩蔵品)	835	100	85	96
(さけ類冷凍品)	547	103	89	98
さば(生鮮品)	490	124	160	149
するめいか(平均)	332	69	80	84
(生鮮品)	350	50	81	86
(冷凍品)	303	100	94	92
あじ(生鮮品)	572	106	89	103
まぐろ(冷凍品)	1,484	96	114	117
(めばち冷凍品)	1,088	106	126	129
(きはだ冷凍品)	904	110	107	141
(くろまぐろ冷凍品)	4,121	100	119	142
(みなみまぐろ冷凍品)	2,906	99	107	134
かつお(生鮮品)	776	58	121	128

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:6月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成15年~19年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班  
代表 03-3502-8111  
内線 6617 三瓶、鳴田  
直通 03-3591-5612